

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2003-179963(P2003-179963A)

【公開日】平成15年6月27日(2003.6.27)

【出願番号】特願2002-268212(P2002-268212)

【国際特許分類第7版】

H 04 Q 7/34

H 04 Q 7/22

H 04 Q 7/28

【F I】

H 04 Q 7/04 C

H 04 Q 7/04 K

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月16日(2005.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところが、データ呼がアクティブである間は、MSC118は第1の作用中のMSC110に登録を行わない。図1に点線で示されているとおり、アンカー-MSC106は第1の作用中のMSC110のNo.7共通線信号方式(SS7)アドレス及び第1の作用中のMSC110に音声呼を伝達するためのペアラパスを有していない可能性がある。(SS7アドレスとは、他のネットワーク要素にシグナリングメッセージを送信するためにMSCによって用いられるアドレスのことである。)従って、MSC118は、BSC112及びBTS113を経由して第1の作用中のMSC110と通信することができず、音声呼を受信できない。さらに別のHHOが第二の作用中のMSC114に対して発生するとの問題は継続する。前述の場合と同様に、アンカー-MSC106は第二の作用中のMSC114のSS7アドレス、並びにBSC116及びBTS117を経由して第二の作用中のMSC114に音声呼を伝達するためのペアラパスを有していない可能性がある。現在、非特許文献1(以下ANSI-41と呼ぶ)の第5条6項に、移動体着信音声呼の伝達事例の大半において前述の問題を克服できるメッセージングが規定されている。しかし、このメッセージングは複雑で、全てのMSCに適用できない可能性がある。ANSI-41の写しはワールドウェブサイトのwww.tiaonline.orgから直接取得できるほか、米国通信工業会(Telecommunications Industry Association, 1300 Pennsylvania Ave., Suite 350, Washington, D.C. 20004 USA)に問い合わせることで入手できる。

【非特許文献1】TIA/EIA(米国電気通信工業会/米国電子工業会)による規格「セルラー式無線通信システム間オペレーション(Cellular Radiotelecommunications Intersystem Operation)(ANSI/TIA/EIA-41-D)」、1997年12月、ワールドウェブサイト<<http://www.tiaonline.org>>